

## 熱中症対策について

記録的な暑さが続き、全国でも熱中症による症状で救急搬送、そして死亡者も多く出ています。気象庁はこの猛暑、あと二週間ほど続くという予報を出しています。本校においても、部活動等の活動で熱中症の症状をひきおこし、体調不良に陥っている生徒が出ています。大きな事故になる前に、もう一度基本的対応を確認すると共に、新たな対応について共通理解をし、生徒に周知して事故を未然に防いでいきたいと思えます。よろしくお願いたします。

### 0 熱中症指数（WBGT）レベルに応じた対応を確認する

**WBGT31を超えた場合** 運動等を中止し、様子を観る。生徒はクールダウンさせる。

改善が見られない場合は練習等を中止する。

**WBGT28を超えた場合** メニュー等を変更する。例えば、○練習時間を短縮する

○30分ごとに休憩を取る ○軽い練習に切り替える 等、部活によって対応は違うと思えます。

#### 1 帽子をかぶる

登下校中は帽子をかぶること。また、屋外での活動では原則として帽子をかぶる。

#### 2 健康チェックカードを記入させ、提出させる

夏季休業中の部活動に参加する生徒は、別紙様式のチェックカードを顧問に提出する。

顧問は生徒の健康状態を把握し、確認印を押す。

#### 3 ペットボトル氷の活用

生徒一人一人に 500ml 1 ペットボトルに水を入れた物を凍らせて持参（最低 1 本）させる。休憩時等に首筋等を冷やさせる。学校でも予備を凍らせておく。事務室・主事室の冷凍庫を借用。

#### 4 クールダウンできる場所を確保する

部活動中は常に被服室と保健室に冷房をかけ、少しでも体調がおかしいと訴える生徒が出たらそこで休ませる。休憩中も適宜利用する。

#### 5 熱中症チェッカー測定時間を再確認する

日直は 9:00 11:00 13:00 15:00 を基本とし、校庭・体育館・プールを巡回して測定する。結果を顧問・管理職に報告し、日直日誌に記入する。

数日後（7/24 時点）には、常設の「チェッカー」を設置するので、各顧問もその数値をこまめに確認する。

### ☆生徒への周知・連絡事項

○体調管理に気を配ろう チェックカードに記入し、提出を。体調が悪い時は決して無理をしない。

○タオル、凍らせた 500ml のペットボトル、着替えを持参しよう

☆首すじを冷やしたり、汗で濡れたシャツを着替えるだけで、気分転換にもなりますよ

○水分補給 自分が飲みたいと思ったときに水分を取ろう

○登下校では帽子をかぶろう 直射日光をできるだけ避けよう

○水泳教室や学習教室へ参加するときも、必ず水筒を持参しよう